

福岡市ソフトテニス連盟

【設立年月日】

1946（昭21）年

【加盟年月日】

1962（昭37）年

【歴代会長】

2011（平23）年 鶴崎 剛

2015（平27）年 椎野 眞敏

【歴代理事長】

2008（平20）年 神崎 仁彰

2015（平27）年 芳賀 正典

2021（令 3）年 蒲原 直大

【沿革】

日本のソフトテニスは1884（明17）年に軟式庭球として生まれ、その後ソフトテニスという名称に変わり137年目を迎え、福岡市ソフトテニス連盟は1946（昭21）年に設立されました。

ソフトテニスは、老若男女が楽しめる生涯スポーツとして親しまれています。

【現在の活動】

令和2年度現在の福岡市ソフトテニス連盟は、名誉会長、会長、副会長3名、理事長、副理事長3名、常任理事10名、理事2名、加盟団体52、加盟登録者数（877人）で組織されており、会長は福岡県連盟副会長を、理事長は福岡県連盟副理事長をそれぞれ兼務しています。

現在、当連盟の定期開催事業として14大会、県連盟主催16大会の運営にあたっています。また、福岡市で開催されます九州連盟、西日本連盟、日本連盟関係大会に運営要員として、ボランティアで大会運営に協力しています。

2010（平22）年から普及事業として小学生を対象にジュニア教室を、2011（平23）年度から大会に出場したい小学生を対象として選手コース教室を、2012（平24）年度からは、中学校に部活がない生徒

を対象にユース教室を、それぞれ開催しています。

また、同年から小学生の大会を始めるなど選手の育成、競技力の向上及び普及活動に努めてきました。

同時に、2011（平23）年からジュニアの指導者を対象に指導者講習会を実施し指導者の育成にも力を入れてきました。

このような取り組みの成果として、2018（平30）年度全国中学生総合体育大会において、団体の部で下山門中学校が3位に入賞、2019（令元）年度に個人の部で下山門中学校の西村麻央・大畑璃実組が準優勝に入賞しました。



【福岡市連盟の教室・主催大会】

- ジュニア教室
（南・東・西地区、ユース）
- 《一般の部》
- 春季・夏季・秋季 選手権大会
- 春季・秋季 団体戦
- 春季・夏季 小学生大会
- ねんりんピック選手選考会
- 選抜インドア大会
- 市民総合スポーツ大会
- 《中学生の部》
- 中学校春季・夏季大会及びジュニア大会
- 一年生大会「香椎杯」
- 《高校生の部》
- 福岡県中部ブロック1・2年生大会